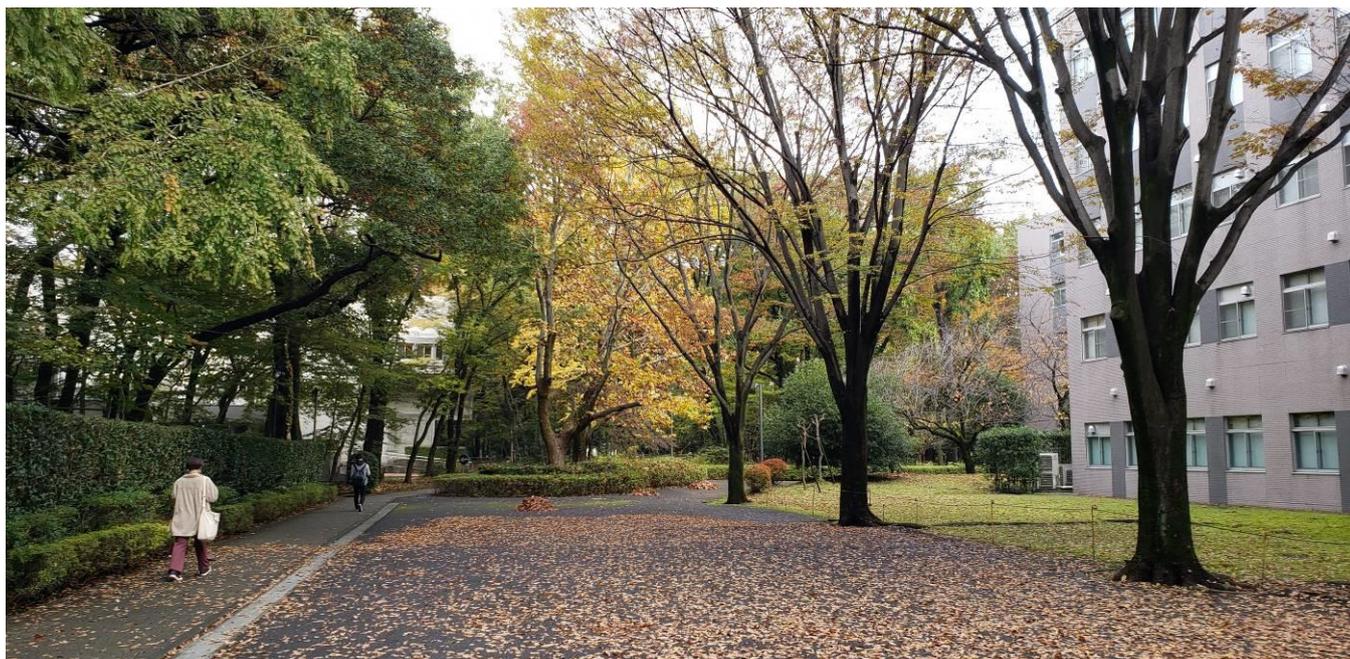


令和3年度「大学生の力を活用した集落復興支援事業」(実態調査)

活動報告書 2021

—福島県田村市景観調査と世代間交流—



SDGs アクター学生連絡会
芝浦工業大学

目次

1. 団体の概要	2
2. 地域ニーズと活動の目的	3
2.1 集落の状況	3
2.2 集落のニーズ	5
2.3 調査の目的	5
3. 実施体制と訪問日程	6
3.1 現地訪問	6
3.2 オンライン交流	6
4. 現地調査報告	8
4.1 美山の集落景観調査	8
4.2 三渡神社・薪の里ながとろ見学	10
4.3 聖石温泉 村越芽生さんのお話	12
4.4 木工体験	14
4.5 個人の感想	15
5. 美山小学校とのオンライン交流報告	16
5.1 美山小学校の発表の様子	16
5.2 未来に残したい美山の風景の発表	18
5.3 考察と感想	19
6. 今後の展開	21
謝辞	21
執筆担当	21

1. 団体の概要

私たち SDGs アクター学生連絡会は、SDGs アクターの資格を取得した学生と、中口研究室(地域創生研究室)のゼミに属する学生からなる団体です。都市や農山村において、幼稚園～小学校～高校の環境学習やESD(持続可能な地域づくり教育)を実践したり、環境資源や人材を活かした“地域創生”活動を地元の方々と協働しながら企画し実行することで、社会の課題解決に貢献することを目指しています。

SDGs アクターの資格を取得した学生は、2022年1月現在、5つの大学で延べ166名がおります。

また、私たちは、地元の若い世代の主体的な活動を支援することで、福島県の震災復興に役立ちたいと考えております。特に田村市は、地域活性化に熱心な住民グループなどが多く存在するとともに、地元に対する愛着や誇りを醸成しようという強い意識を持った若い世代がいらっしゃいますので、是非応援したいと考えております。

今回、芝浦工業大学中口研究室と環境システム学科2年生の学生が実態調査に参加しました。

学年	氏名	学年	氏名
1年生	林紘大	2年生	塚崎舞
1年生	森島明隆	2年生	畠菜央
1年生	山本翔一	2年生	大橋くるみ
2年生	栗山宙大	2年生	小林和佳奈
2年生	菊池杏	2年生	草野利穂
2年生	菅原碧	2年生	佐々木斗羽
2年生	渡辺有紀	4年生	船山尚久

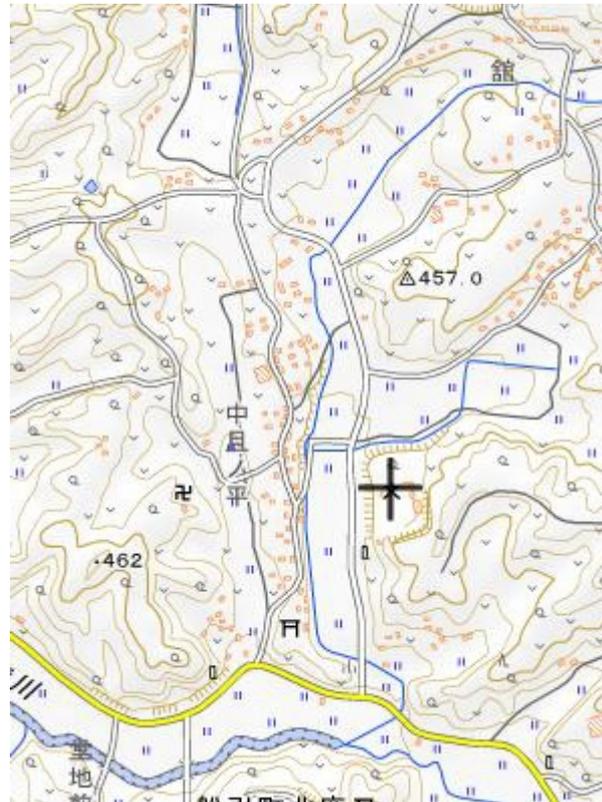
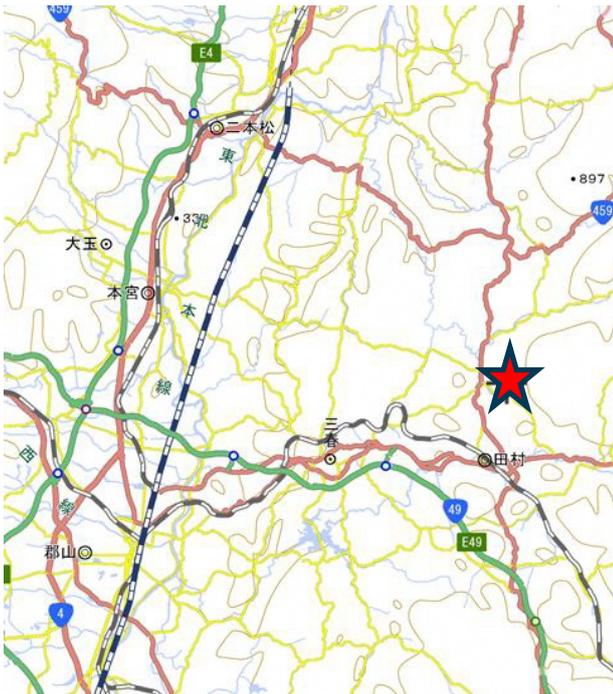
2. 地域ニーズと活動の目的



2. 1 集落の状況

田村市美山地区は、田村市船引町の中心部の北部の山間部にある集落で、人口は2021年4月現在1,283人（男性631人、女性652人）、世帯数は403世帯です。

その歴史は、天保2年(1646)より、三春藩城主秋田氏の所領として、小野鹿又村、小野長外路村と称していました。明治22年、町村制の実施で二つの村が合併し美山村となりました。村名の由来について諸説あるが、周辺の山々宇津具志山(うつぐしやま)から転じて美山となった説が有力です。地区の面積は12.53km²で、北部に地区のシンボリック存在である移ヶ岳を有し、中央を横断するように一級河川紫川が流れており、東部には福島県指定史跡の前田遺跡があり4千年前の縄文時代から人々が暮らしていたと考えられます。南部には沼ノ下工業団地があり自動車部品工場が立地しています。



田村市美山地区の位置

(地理院地図より作成)



集落の様子(2021年11月26日)

2.2 集落のニーズ

明治以降、葉たばこや蚕、繁殖牛など農業を中心とした第一次産業で栄えていましたが、近年は農業生産者が減少し耕作放棄地が目立っています。また、少子高齢化の進展により担い手不足に伴い、伝統行事などの共同活動ができなくなってきています。

そこで、環境資源や人材を活かした活動を企画することにより、地区の様々な課題解決に繋がること及び、都市の大学生や地区の若年層との交流により、地区に対する愛着や誇りを醸成することにより、地区の活性化を図ることが期待されています。

2.3 調査の目的

私たちは田村市の集落景観調査や交流活動を通じて、地域外の私たちから見た美山地区の魅力を地区に住む人々に伝え、地元への愛を深めてもらいたいと考えました。それによって SDGs の 11 番の目標である、レジリエントなまちづくり・持続可能な地域づくりに貢献したいと考えました。

”

3. 実施体制と訪問日程



今回、美山小学校および美山地区出身の市職員からなる美山地域づくり協議会などが中心となって受入れていただきました。また、田村市の地域おこし組織である一般社団法人 Switch の全面的な支援をいただきました。

3.1 現地訪問

日程

11月9日(火)

実習内容

- ① 美山地区集落景観調査
- ② 三渡神社の訪問
- ③ 薪の里ながとろの訪問
- ④ 聖石温泉での
村越芽生さんによるお話
- ⑤ 木工体験

3.2 オンライン交流

日程

11月13日(土)

方法

ZOOM

内容

美山小学校「みやまっこフェスタ」への参加および3～4年生との交流



出典：Google マップ

4. 現地調査報告

4.1 美山の集落景観調査

この日は雨だったため、屋内で写真を見て景観調査を行いました。

学生が独自の目線で景観に対する 10 段階評価を行いました。普段見たことのない景観に歓声があがりました。

美山に住む人々にとっては被地上の光景でも、普段あまり事前とふれあう機会のない私たちにとっては、とても美しい特別な風景でした。



Google ストリートビューの写真



評価のようす

以下は、私たちの感想です。

- ・ストリートビューでの調査は少し難しかったが、現地を見れたところもあり、美山の風景を見れて良かった。
- ・実際の景観を見ることができず残念だったが、写真でも美山が自然豊かなことが十分に伝わり、後世に残していきたい風景だと感じた。
- ・私たちがきれいだと思って点数をつけた写真でも、地元の人たちはびっくりしていて、埼玉と福島の景観の差が感じられた。
- ・ストリートビューでの調査となってしまったが、初めて訪れる土地の印象は土地計画にも重要であると感じるので取り組めてよかった。
- ・埼玉などの都市近郊では見られない美山の豊かな自然を見ることができ、この美しい景観を未来に残したいという気持ちを強く持った。
- ・首都圏ではあまり見られない、両脇に田んぼがあり、空が広く、道がまっすぐ続いている風景が多く見られたことがとても印象的だった。
- ・美山の集落を写真を通してみることで、様々な一面の美山の景色を見ることができました。全く知らない土地でしたが、残したい景色を考えながら少し知ることのできた気がします。
- ・この自然は守っていかないといけないと思った。
- ・私は地方都市をいくつかまわって住んでいて、周辺の田舎などどこか違いはあるものの、それが何かというのを立ち止まって考えることはありませんでした。しかし、今回の景観調査を経て、自分の知っている地域と木の生え方や密度が違うなどといった違いにも気づくことができたくさんの発見を得ることができました。

4.2 三渡神社・薪の里ながとろ見学

次に美山まちづくり協議会長佐藤篤恵さんや市議会議員の佐藤重実さんなどの案内で、三渡神社・薪の里ながとろを見学しました。

以下のことがわかりました。

<三渡神社>

- ・漢字で「長外路」
- ・下長外路と上長外路が一つになってできたものであるため鏡が2つある
- ・社殿ができたのは明治時代ごろだといわれている
- ・きれいな彫刻が施されていた

<薪の里ながとろ>

- ・四季折々の植物が植えられている
- ・希少な種もある
- ・展望デッキから施設内の 綺麗な花々を一望できる



三渡神社



三渡神社から薪の里ながとろへ向かう途中



薪の里ながとろにて

以下は私たちの感想です。

- ・神社の造りや木彫りの美しさに驚き、焼き芋がとても美味しく、自然に触れることが出来て良かったです。
- ・薪の里ながとろの風景をさまざまな角度から眺めることができ楽しかった。朝日や星空をそこで見たら楽しいだろうなと感じた。
- ・神社や薪の里ができた背景を知ることができた。薪の里の方のお話しに、普通に東日本大震災の話が出てきて、そういった自然災害も東京や埼玉と比べると当たり前のようなのだな、と違いを実感した。
- ・三渡神社の本殿とその手前にある建物の間の簡易的な橋のようなものの存在が不思議だった。薪の里ながとろでは私が都会からあまり出たことがないこともありその土地の良さではなく都会と比べてしまうところがあった。
- ・三渡神社は建物の中に建物があるような造りになっていて面白いと感じた。また、実際に歩くことで美山の自然を肌で感じる事ができて良かった。
- ・私たちの学びに対して、みなさんがすごく歓迎してくれていてびっくりした。美山の方々の人柄のあたたかさに触れることができた。
- ・薪の里ながとろの見学では自然を実際に感じる事ができました。三渡神社の見学では彫刻の技術が印象的でした。
- ・貰った焼き芋が美味しくて、幸せな気分になった。
- ・神社の内部をあれほどまで間近にみれる機会は滅多にないのでよい経験になりました。また、建築物をみる視点においても歴史的な背景とのかかわりは非常に興味深かったです。

4.3 聖石温泉 村越芽生さんのお話

お昼は聖石温泉で食べました。そこで若女将の村越芽生さんのお話を聞きました。
話の内容は以下の通りです。

SNS で情報配信を行っていた

→有名になってしまい、周囲の人に噂を立てられるのが嫌になり SNS はやめてしまう

何かできることはないか

→調理師免許取得&19歳で実家の温泉の若女将になる

⇒現在、田村市の観光キャンペーンクルーに就任



以下は私たちの感想です。

・村越芽衣さんへ 自分が将来何をしたいのか決められていないので、近い年齢の方のお話を聞くことが出来てとても良い経験でした。若女将として頑張り、地域に貢献していてすごいと思いました。ありがとうございました。

・村越芽生さん

私と同世代なのにも関わらず、家業の将来を考えていたり、決断力を持っていたりしてかっこいいと感じました。お話を聞くことができてよかったです。ありがとうございました。

・村越さん。この前は、村越さんが聖石温泉の若女将になるまでの話を聞かせてくださりありがとうございました。私は温泉に入りましたが、とても気持ちよく、雨だったので体を温めることが出来ました。カレーもおいしかったです。小学生との交流の際の言葉遣いにも感動しました。本当にありがとうございました。

・村越芽生さん ツイキャスの話は youtube などの SNS が流行している今とても分かりやすく聞きやすかったです。地元に残り若女将としてやっていくことをきめ、調理師免許を取るなど将来が決まっていなかった自分にとって新鮮で楽しいお話でした。有難う御座いました。

・村越芽生さん

アンチや批判のコメントがあったとはいえ、以前まで行っていた自分の趣味を用いた情報発信をやめ、地元で貢献したいという思いから美山の情報や魅力の発信を始めて、現在まで意志を変えることなく尽力しているというのはすごいと思いました。また、地元で貢献したいという思いを持ち、行動に移したのが現在の私よりも若い年齢であり、決断力と行動力の高さにとっても感心すると共に尊敬の意を持ちました。そして、もっと美山を盛り上げていくためにも、今後もたくさんの情報や魅力を発信して欲しいと思いました。貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

・村越さん

優しく、丁寧にいろいろなことを教えてくださった。福島ローカルテレビにでていとおっしゃっていたので、帰省した時に見ようと思います。

他にもたくさんの方々にお世話になりました。みなさん私たちをととても歓迎して下さったことがとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

・村越芽生さん: 貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。ご飯もおいしく、温泉も気持ちよかったです。学びながらも福島県郡山市を楽しむことができました。

・村越芽生さん、すごい自分というものを持っていてかっこよかったです。お話ありがとうございました。

・村越芽生さん / 先日は、聖石温泉への来訪を受け入れてくださりありがとうございました。自然の空気を感じたり、チェーンソーなどを用いた木工体験を通して、埼玉にいただけでは発見できないような視野が広がりととても良い経験になりました。次回は、温泉にゆっくり入って、おいしいカレーをまた食べに行きたいです。ありがとうございました！

4.4 木工体験

次に村越さんのお父様の作業場で、木工体験を行いました。

- 建築廃材を活用した木工産業を行っている
⇒ ないものばかりを考えるのではなく、あるもので補う方法を考える
⇒ 「あるものを最大限に活用する」という精神
⇒ 不要なものを必要なものに変える「錬金術」
- チェーンソーを用いた木材の切断体験, 木材加工
⇒ 普段経験することのできない貴重な体験ができた



以下は私たちの感想です。

- ・木を実際に切ったり加工する様子を見たり体験することが出来て、木材の加工への関心が高まりました。
- ・ここでしかできない経験として木工体験事業を行おうと考えた村越芽生さんのお父さんは地元の特徴とユーザーのニーズを理解していて凄いと思った。
- ・村越さんのような若い世代が、福島などの地域においていかに大切か、またいかに少ないかを思い知らされた。木工体験は、初めて間近で木を加工するところを見れて良かった。
- ・周りの人からのアンチに耐えられず趣味を仕事にすることをあきらめた話がとても悲しかった。仕事をする目的になるような趣味が見つかればいいなと感じた。
- ・実際の作業工程を見ることで廃材を活用した事業に関心が湧くと共に、チェーンソーで木を切るという貴重な体験ができて良かった。
- ・初めてチェーンソーで丸太を切るという体験をして、とても楽しかった。普段することのない貴重な経験をさせてもらって、こういう体験んすることもまちの魅力なんだなと改めて認識した。
- ・木工体験では普段間近で見ることのできないチェーンソーが稼働しているところを見ることができて貴重な体験ができました。村越芽生さんのお話では私たちの世代の近い人が活動していることでとても刺激を受けました。

4.5 個人の感想

実際に地域を訪れ人々と関わることで、その土地の魅力を肌で感じる事ができた。また、地域の方々との交流により大学で学習しているだけでは得られない視点を得る事ができた。(菊池)

現地に行ったことで、オンラインだけでは学べないことを多く学ぶ事ができた。特に、実際に美山地区に住んでいる人の生の声を聴く事ができたことが良かった。(菅原)

現地を訪れたことで、美山の魅力に直接触れることができ、とてもいい機会だった。また、地域の方が普段生活しているとわからない小さな魅力も、地域外から訪れた私たちにとっては大きな魅力であることを知ってもらい、今回の実習での交流やこの発表を通して自分の住む地域の魅力を再確認してもらおうと共に、後世に残そうという思いを持っていただけたら嬉しく思う。(渡辺)

・実際に現地を訪れてみることで、美山の方々のあたたかさに触れる事ができた。私たち学生を優しく歓迎してくださり、自分たちの学習や取り組みは大事なことであるということ改めて感じる事ができた。(畠)

守ってほしいと感じる景観が数多くあった。美山小学校の小学生との交流を通して地元を好きでいる気持ちが大切であると感じた。(大橋)

5. 美山小学校とのオンライン交流報告

11月13日(土) 9:00~10:30、美山小学校の「みやまっこフェスタ」に参加しました。子どもたちの学習活動の発表を聞くとともに、私たちも発表し、その後、3~4年生と交流しました。

zoomにて

5.1 美山小学校の発表の様子

まず、田村市美山小学校3・4年生の発表を聞きました。美山の自然や人、おいしい食べ物について紹介してくれました。劇をしながらスライドを使って発表してくれました。

その後、私たちが「未来に残したい美山の風景」ベスト3を発表し、美山小の代表者2名が感想を述べました。



↑美山小学校の発表の様子

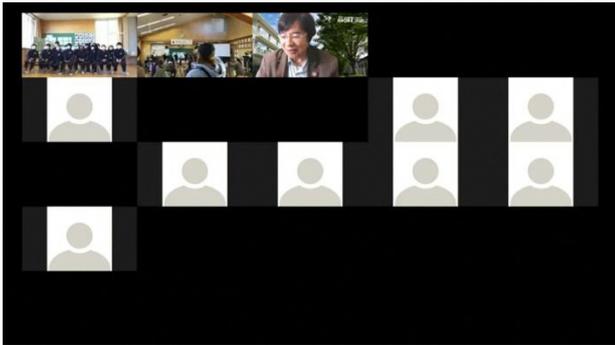


↑代表者が感想を述べている様子

交流の最後には、私たち学生が、美山小学校の発表について感想を述べました。



↑私たちの感想を聞いている様子



↑感想を述べている様子



5.2 未来に残したい美山の風景の発表

- 二日目の最初に「未来に残したい美山の風景」を写し、採点
- 上位三つの景色を発表

3位 石井新聞店北の供養塔付近

風景の構成要素: 田んぼと畑と道

理由: あたり一面緑に覆われていて東京都や埼玉県ではみることができないから



2位 松崎商店付近の道路

風景の構成要素: 太陽の光、きれいな田んぼ、昔からある店舗、曲がっている道、奥の方に見える山

理由: 自然と人工物のコントラスト



1位 美山小の下の道路

風景の構成要素: 遠くの山なみ、広い道、交差点、歩道、電柱、ガードレール、野草、水田、住宅

理由: 水面に映る田んぼの風景



5.3 考察と感想

今回の発表を通して実際に福島の小学生と触れ合えたことで現地の感覚と埼玉ではありますが他県から見たときの感覚を共有できたのは素晴らしいことだと思います。自分の県のどのようところが長所となりえるかの把握はどの地域でもやるべきであると思いました。

芝浦工業大学学生の「未来に残したい景観ランキング」の発表にて、「現地の子供たちにとっては普段生活していて当たり前そこに商店や景観が、東京などの大都市においては珍しいものである」という話を現地の子供たちが聞いたときに驚きの声を上げていたことが印象に残った。同じ施設や景色に対しても三者三葉の見方があり、物事を一つの視点に決めつけて見てはいけないことの分かりやすい例だと思いました。

以下に発表の感想と子どもたちへのメッセージをまとめました。

- ・今日の発表とても分かりやすく、ユーモアがあり、とてもよい発表だったと思います。地元のことを好きな子たちがばかりで見ていいなあって感じてました。
- ・小学生らしい元気いっぱいな劇を見させてもらいました。美山の魅力を劇を通して知ることができました。また、大学生からの発表の時も反応よく楽しそうに見ていたの、意欲の高さを感じました。今日は短い時間でしたが、すごく楽しませてもらいました。
- ・一人一人が大きな声と動きで発表をしていて、とても元気が出ました。また、オンラインにもかかわらず、距離感を感じない対応に世代の違いを感じました。これからも元気いっぱいに学校を楽しんでください。ありがとうございました。
- ・美山の魅力が劇を通してよく伝わってきました。大きな声でハキハキと発表する様子を見て、私も見習わなくては、と思いました。発表者全員から地元に対する愛を感じるとも素敵な発表でした。ありがとうございました。
- ・小学生の時を思い出すような気持ちになった。自分も劇をやっていた時期が懐かしく感じた。自分は1日目のみの参加で直接的な交流はなかったが、美山地区について動きを交えて紹介してくれたので、すごくわかりやすかった。
- 大人になると子どものような無邪気さがなくなるので、その無邪気さを忘れないでほしいと思った。これからも色々なことを元気に学んでほしい。地元の風景が都会に比べ、どれくらい良いものか大きくなるにつれてわかるので、ぜひ芝浦工業大学に入学して、フィールドワークをしてほしい。
- ・美山小学校の皆さんの発表を見て、地元への愛や気持ちをよく感じる事ができました。発表の仕方も初々しく僕達も学ぶべきところが多かったです。
- ・発表を聞いて感じたことは、みんな元気で楽しみながら発表していたので聞いている自分まで楽しい気持ちになりました。お世話になっている人に感謝を伝える際にもその人の服装や話し方をまねしていたり、子供たちなりの感謝の気持ちが伝わってきました。これからも元気に楽しく学校生活を送ってください。
- ・予行練習の時より更に、学んだこと・楽しかったことを一生懸命発表してくれてるのが伝わってきて、楽しかったこと・驚いたことなどその時に感じたことが伝わってきて、見ていて元気になり、とても良かったです。これからも元気いっぱいに楽しく学んで頑張ってください。発表を聞くことが出来て、良かったです。ありがとうございました。
- ・元気に仲間と協力しあって発表してる姿に元気を貰いました。子供らしく元気に、でもしっかりとした発表内容で驚かされました。これからも地元を大事にして行ってほしいと思います。
- ・子供たちの発表を楽しみながら聞くことができた。両日参加者の発表も工子供たち向けに夫されていてよかった。
- ・小学生のみなさんのキラキラした魅力に圧倒されました。地元の良さや改善点は住民が一番よく知っていると思うのできちんと声に出して意見していき、いいところは保護し改善すべきところは改善することです。ずっと好きでいられる地元であってほしいと思いました。
- ・学んだ内容が劇という形式を用いて発表されていたため分かりやすく、加えて元気いっぱいに明るく発表されていたため探検に行ったときの楽しさも感じる事ができ、美山の魅力がより一層伝わってきた。また、芝浦工大生が選んだ美山の景観をランキング形式で発表したときに「普段見ている見慣れた景観が上位にランクインしていて驚いた」という感想が多く寄せられたが、今回のような学習を通して美山の魅力を再確認すると共に、現在の美山の自然があたりまえにあるものではなく特別なものであるということを感じてもらい、自然豊かで美しい景観を未来に残していけるよう、大切にしてほしいと思った。

・土曜日はありがとうございました。美しい自然の景色がのこる美山小学校を大切にしてください。
・先日見させていただいた練習通りしっかりできていてとても良かったと思います。皆さんがたくさんのご意見を学んでいたのがしっかりわかりました。ちゃんと教えてくださった本人を服装や喋り方まで忠実に再現された発表で、演劇風に仕上がっていてとてもわかりやすい発表でした。聞いていて面白かったです。福島では普通の景色が東京の人から見ると普通でないということがわかったのでしっかり大切にしていってほしいです。
・美山小学校の生徒の演劇がとても印象に残った。交流会の映像を見て美しい田村市の写真が美しく普段見られない景色だと思った。2日目は参加していないがこの映像を見た後にぜひプライベートで訪れたいと思った。

・感想

芝浦工業大学学生の「未来に残したい景観ランキング」の発表にて、「現地の子供たちにとっては普段生活していて当たり前なのにそこにある商店や景観が、東京などの大都市においては珍しいものである」という話を現地の子供たちが聞いたときに驚きの声を上げていたことが印象に残った。同じ施設や景色に対しても三者三葉の見方があり、物事を一つの視点に決めつけて見てはいけないことのがわかりやすい例だと思った。

メッセージ

君たちの周りに当たり前のようにある美しい自然。でも、今この瞬間にも世界中でそれは破壊されている。(何が起きているのか調べてみるといいかもね)これからの世界をどのような形にするのか。それは君たちを含んだ若い人たちにかかっている。君たちには無限の可能性がある。なんだってできる。そこで、君たちにいつも心掛けてほしいことがある。それは「決めつけないこと」だ。

世界にはたくさんの方がいる。みんな違う考えを持っている。自分が正しいと思っていることを、他の人は間違っていると考えているかもしれない。だから君たちには、自分が正しいと思うことを押し付けるのではなく、互いの違いを認め合ってほしい。その違いを分かり合えなかった最悪の結果が戦争だ。

一日一日を大切に生きてみよう。「今しかできないことは何か」を常に心掛けてみよう。同じ一日は二度とやっこないし、時間は戻らないよ。

・私の年齢ではこのような劇はなかなかできないため、大変感動した。モノマネもとても似ていて貫録を感じた。

・自分自身が学んだことを劇でわかりやすく、元気に発表していたことが印象的だった。大学生になって劇などで発表をすることがないので、飽きずに新鮮な気持ちで発表をみることができた。

・美山地区の良いところや魅力的なところを劇など、工夫をして元気に発表をしていて、美山地区についてよく知ることが出来た。

・皆が学んだことをわかりやすく大きな動きなどで伝えてくれたのでとてもよく理解することができました。そして、もっと知ってみたいと思うことができました。ありがとうございました。

・素敵な劇をありがとうございました。私たちに取ってこのような機会はとても貴重なものです。ぜひ、大事にしてください。

・一生懸命に勉強したことを発表してくれてほほえましく見ることができた。発表を見ることによって癒された。日々の生活で疲れていたのもとてもいい経験になった。このように子供たちが将来に継承していくことが大切なことであると思った。

・探検の様子などを動きをいれて元気に発表していただいて、見ていてとても楽しくなりました！大学のプレゼン発表というどうしてもかたくなりがちですが、TPOをわきまえたうえでユーモアをいれていくことは、相手も楽しんで聞くことができるのだという発見を得ることができました。

6. 今後の展開

来年度は以下のようなことができると考えています。

- ・美山小学校の子どもたちと対面で交流する。
- ・聖石温泉のオートキャンプ場で子どもたちの遊び道具などを製作して一緒に遊ぶ。
- ・地元との人たちとともに美山小学校の総合学習を支援し、地元への愛着を高める
- ・地元の 2022 年～30 代の若い人たちや高校生と何かを企画し実践する。

謝辞

田村市の皆様、美山小の皆様、中口先生

今回はこのような機会を設けてくださりありがとうございました。美山小との交流を通して生徒たちの積極的な姿勢や強い地元愛を感じ、初心に戻って自分を見つめ直すきっかけになりました。美山小の生徒たちの前のめりな姿勢を見習いこれからの活動に取り組んでいきたいと思えます。

執筆担当

<第4章 現地調査>

菊池 杏
菅原 碧
渡辺 有紀
畠 菜央
大橋 くるみ

<第5章 オンライン交流>

塚崎 舞
小林 和佳奈
林 紘大
森島 明隆
山本 翔一

<監修>

船山尚久、中口毅博 芝浦工業大学環境システム学科 地域創生研究室
〒337-8570 さいたま市見沼区深作 307

Tel 048-687-5156 Fax 048-687-5199 nakaguti@sic.shibaura-it.ac.jp

研究室ホームページ：<https://www.paes.shibaura-it.ac.jp/nakaguti/>